

国産ジビエ認証施設（第42号）富士吉田市立富士山ジビエセンター（DEAR DEER）の概要

【取組の概要】

- 「富士山を食害から守る」をモットーに、野生鳥獣を「マイナス」から「プラス」の存在に変えていく。
- 食害をもたらす野生鳥獣とは言え尊い命を無駄にせず地域資源として活用することで好循環を生み出す。

【施設概要】

- 所在地：山梨県富士吉田市
- 事業者名：株式会社 ふじよしまちづくり公社（指定管理者）
- 代表者名：代表取締役 堀内 茂（ほりうち しげる）
- 整備時期：令和6年度（公設民営）
（山梨県鳥獣被害防止総合対策事業補助金を活用）
- 取扱獣種：シカ
- 年間処理頭数：149頭（令和6年度）
- 従事者数：6名（内3名はパート・アルバイト）
- 主な販路：併設ショップ・“道の駅富士吉田”・ECサイト・ふるさと納税



<ロゴ>



<処理施設の外観>

【特徴的な取組】

- 地元猟友会員向けにジビエ衛生管理セミナーを開催し、捕獲段階から品質・衛生管理が徹底された良質な個体を搬入。
- 国内有数の来訪者数を誇る“道の駅富士吉田”に近接する施設の立地を活かし、訪れた多くの方に親しんでもらえるようショップを併設。初めての方でも気軽に楽しめるよう、ハム、ソーセージ、ハンバーガーなどジビエ加工品を展開。
- 教育施設としての機能もあり、「ジビエを知って命の大切さを考える」をテーマに学習会を開催。

【HP・Instagramへのリンク】HP：<https://mtfuji-deardeer.com/>

Instagram：https://www.instagram.com/mt.fuji_deardeer/



<処理施設の内部>



<ソーセージやハムなども加工>



<ショップを併設>



<学習会の様子>